

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'99
夏季

号【7、8月合併号】

●秋の市民アカデミーは夜間ふくめ26講座 聴講生募集

■いのちはなぜ生まれ消滅するのか
十人十色になる不思議 多田富雄さんが講演



いまを話す

やさしい健康の話と評判の
川崎区保健所の野田 晴彦 医師
大切な体とまちの「手入れ」
社会支える保健、医療、福祉

かわさき市民アカデミーの聴講生募集

8月2日(月)から受け付け開始

かわさき市民アカデミーでは、10月開講の講座の聴講生を募集します。「発見・驚き・感動」を味わい、知性と感性を磨いてみませんか。

- 聴講できる講座 昼間の23講座と夜間の3講座（講座の一覧は裏表紙にあります）
- 募集定員 講座ごとに定員あり。定員を超えた場合は抽選
- 聴講料 1講座7千5百円（No.7「川崎の自然観察～秋冬編」は1万5千円、No.17「生活福祉の展開」は5千円、夜間講座は5千円）
- 申し込み方法 はがきまたは電話（10時から16時、日曜を除く）で申し込む。はがきの場合は受講希望講座名（複数可）、氏名、住所、電話番号を明記
- 応募期間 8月2日(月)～8月13日(金)まで。当日消印有効
- 申し込み先 〒211-0064 中原区今井南町514の1、市生涯学習プラザ内、かわさき市民アカデミー事務局 ☎044(733)6626

◆案内パンフレットは7月下旬から各区役所・市民館・図書館、生涯学習振興事業団で配布

Stage Up 夏季 号もくじ/1999年

■いのちはなぜ生まれ消滅するのか
—— 十人十色になる不思議 多田富雄さんが講演 —— 3

■ほんねインタビュー いまを話す
「生活習慣病は伝染する!」と話す —— 川崎区保健所健康課長、野田 晴彦 医師 —— 6

大切な体とまちの「手入れ」
社会支える保健、医療、福祉

●学習・文化情報／編集後記 —— 11

新宿で村楢さんが1カ月間、個展
日本フィル・コンサートマスター、木野雅之来る

◆秋の市民アカデミーの聴講生募集 —— 裏表紙
市民の多様なニーズに応える26講座

□表紙絵……箱根の緑陰(川崎市の「みどり山荘」付近) 村楢広義さん

▼お断り「はりきってます グループ紹介」は休みます

(小誌は再生紙を使用しています)

いのち誕生はドラマだ

多田東京理科大生命科学所長が記念講演

「人生は遺伝子で決定」は誤り

要素 体の超システムで作り出す

「いのちの不思議さ」を分子や遺伝子を通し明らかにする「生命科学がいま教えていること」と題する講演が、四月の「かわさき市民アカデミー」入學式であった。講師は、多田富雄・東京理科大学生命科学研究所長。「人間は単純な動物と異なり、遺伝子で全部が決まらない。偶然的な要素や環境によって、一人ひとりが個性ある人生を過(こ)せる」と述べ、生涯学習の実践的意義を強調した。また、目や腎臓、血管などの人間の体の要素が、細胞自らが作り出す過程に触れ「自分で自分の運命を決める『超システム』は市民社会、言語の生成過程、大都市の成立と発展にも当てはまる」と述べた。



生命科学とはなにか？基本的には、さまざまな生命現象を分子や遺伝子のレベルで説明することである。生命現象とは、赤ちゃんがオギャーと生まれることだが、実際には、それよりはるか前から母親の子宮の中で受精卵として誕生している。

生命のそれぞれのステップが全部、遺伝子や分子で説明できる。受精卵からどのようにして人間ができ、なぜ老化し死ぬのかも、それを決定する遺伝子によることもわかってきた。生命科学は、人の誕生から死までの出来事を分子や遺伝子のレベルで考えてみる学問である。

ところで、いったん遺伝子が出来ると、遺伝子は自分の子孫を作り出すため、人間という使い捨ての乗り物を作り出し、それを利用しながら遺伝子は生き残る。つまり、「人間は遺伝子の乗り物にすぎない」という考え方もある。

しかし、生命科学の研究が進むと、遺伝子で全部が決定されるのではなく、いろいろな偶然的な要素が入り込み、

さらに環境からの要因が働く、ということがわかってきた。その結果、一人一人がみな違う生命を持ち、個性を持った人生を生きる。

だが、遺伝子ですべてが決まっている動物もいる。例えばせん虫。土の中にいて、長さ約一・二ミリの肉眼では見えにくい小さな虫だ。その虫は、たった一個の受精卵から発生し、十六時間の間に例外なく九五九個の細胞ができ、完全な虫になる。十四日目から老化が始まり、体の細胞が変化し、二十〜二十三日の間に死ぬのだ。

単純な動物の場合、ある時期にどの遺伝子が働き、老化を起こす遺伝子はどれで、死ぬ時に働いた遺伝子がどれか全部わかる。これをもとに、人間がどのようにして生まれ、どのように成長するかを理解できる。

一種類のホルモンで体のデザインが変化

人間は、この動物と違って、非常にユニークでフレキシブル(柔軟)である。その結果、個性ある人間が生まれる。一卵性双生児は、遺伝子は全部同じだが、同じ病気にかかり、同じ日に死ぬわけではなく、行動様式も違う。個性性を作り出し、自分の人生をつくりだす。ここがせん虫と違うところだ。

しっぽ無くなりや、寿命が尽きる!?

有限の一生を究め、究美した生き方を



ある大学の実験。ニワトリが生まれてくる途中に、あるホルモンを腹部に注射すると、そこからもう一本の羽が出て、三枚の翼を持ったニワトリが生まれる。体のデザインは何十億年の生命の歴史の中で決定されてきた。「簡単に変えられないだろう。体のデザインは神が決めた。神のデザインまで変えることはできない」と思っていた。だが、一種類のホルモンFGFによって、体のデザインまで変えてしまう。ニワトリは、せん虫と異なり遺伝子で全部決まるわけではなく、いろんな要因によって動かすことができる、ということを証明している。

もう一つ別の実験。オタマジャクシの発生時にアクチビンというホルモンを微量注射すると、一部分の臓器を共有したもう一匹のオタマジャクシができる。精密な発生のプログラムを、たった一種類のアクチビンという物質で変えてしまう。

また、カエルの卵が百の細胞に分裂したとき、その細胞の上部をとり、

食塩水のなかで培養する。そのままだとこの細胞は死ぬが、アクチビンを少量入れて培養すると袋状になり血液が生まれる。アクチビンの量によって、筋肉ができたたり神経ができたり心臓ができたりするのである。

人間の場合も同じである。細胞分裂の段階では、どの細胞が何になるか全くわからないが、卵のなかに含まれている母親由来のいろんなホルモンの濃度に応じて、細胞が自分で運命を決めていく。別々の細胞に変わって、それらがつながりあって、最終的に人間の形ができてくる。

複雑化する現代社会 遺伝子の世界と酷似

細胞が自己複製して、その間に役割の分担が決まる。それぞれの細胞がお互いに働き合いながら、一つの体を作り出す。このとき、細胞間で刺激し合い情報伝達をしたりして、遺伝子の働きを変化させ自分の運命を決定していく。私たちの体は、非常にシステマチック(組織的)に有機的に動いている。たくさんの細胞から出来ていて、それぞれの細胞が決められた働きをする。細胞がうまく働いているから、私たちの体はこうして生きていける。

体は一つのシステムである。システムとは、辞書によると「ある目的

のためにいろいろな要素を組み合わせ、それが有機的につながりながら動いている集合体」とある。体をシステムと考えたとき、眼、腎臓、血管などの要素が初めからあったのではなく、要素を自分で作り出し、その要素を互いにつなぎ合わせて、新しい働きを創造していく事がわかる。

コンピュータや機械は、部品を組み合わせて作るが、人間の体は脳神経、免疫系などの要素を自分で作り出す。自分で自分を作り出すシステム、自分で自分の運命を決めているようなシステムを「超システム」と呼ぶことにした。

遺伝子を調べていくと、一種類の小さなユニットから始まって、それがだんだん複雑になっていく。基本的なたった一種類の非常によく似たものが最初に出来て、それが複製していつつつながりあい、互いに反応し合い複雑化していった。遺伝子の世界も超システムであり、免疫系、脳神経系など体の成り立ちも超システムである。その産物である人間も超システムである。超システムの概念は、人間が作り出した市民社会、言語の生成過程、官僚制、会社の経営、大都市の成立などにも当てはめて考えることができる。

このように、いろんな分子が相互適応し、依存しあいながら成立した

のが人間と考えると、人間が老化し死んでいくことも理解されてくる。

細胞の分裂回数が多いと長寿になる

四十年前、ハイフリック氏が、皮膚の細胞を培養したときの分裂回数とその動物の寿命とに関連がみられる「ハイフリック現象」を示した。



細胞を採って培養すると分裂するが、ある一定の回数分裂すると、必ず分裂をやめて死ぬ。また、それぞれの動物の細胞分裂の回数も決まっています、マウスのそれは七・八回で寿命は約二年。ラットは十から十二回で寿命は三年。細胞が分裂できる回数と寿命は相関関係にある。

人は、百一十年ぐらい生きられる。私たちの寿命を決める遺伝子があって、私たちの細胞が分裂することと関係がある。皮膚の下にある繊維芽細胞はいつも分裂している。皮膚は細胞が死んでも、いつも新しい細胞

が出来ているので変わりなくみえるが、細胞の分裂能力がなくなつたとき、だんだん老化して死に近づく。

どうして細胞は分裂をやめるのか？ 遺伝子は長いらせん状の構造を持って、私たちの体の細胞の染色体の中に細かく巻き込まれている。その遺伝子を引き伸ばしてみると約二メートルあり、目には見えないたくさん分子がつながりあっている。二メートルもの遺伝情報を作り、細胞の中へ折りたたまれていく。折りたたまれた遺伝子のしっぽのところにならず「テロメア」というのがある。テロメアというのは、六つの分子が並んでいる。これが何百回も繰り返されている。

ところが、細胞が一回分裂するとこの分子が何組か切れてしまい、テロメアは短くなっていく。最終的にこれが全部なくなつたときに、細胞は分裂できなくなり死ぬのだ。細胞の分裂回数が、なぜ決まるかというと、このテロメアがだんだん短くなって最終的になくなつたときに分裂できなくなるからだ。

このことは、バスの回数券に似ている。乗るたびにチケットが減って、十回の回数券は十回使えばなくなる。これと同じように、すべての細胞は分裂の回数券を持っている。これがテロメアという遺伝子の働きだ。赤

ちゃんの時はテロメアが長い、何度も分裂するうちに、だんだん短くなり百二十歳になつたとき、すべての回数券を使い尽くしたことになる。

これを長くすると長生きできると考えて研究してきたが、これを長くすると細胞はがんになる。がん細胞は何回も分裂できる。なぜ、がん細胞は何回も分裂できるのか。テロメアを継ぎ足すような酵素が働いて、分裂しても回数券が減らない状態になる。がん細胞の恐ろしいところだ。

テロメアは細胞が分裂し染色体を作る際、大事な働きをしている。それが、染色体の安定化につながっている。不安定になると細胞は分裂出来ない。と同時に、遺伝子のしっぽのあたりに細胞が自殺する遺伝子がついている。細胞が自殺することをアポトーシスといい、これについての研究も進んでいる。細胞の自殺を

決行する遺伝子、それを調節する遺伝子、自殺をとめる遺伝子などが見つかってきた。私たちが生きていくために必要な細胞分裂。そのためにテロメアが必要。だが、テロメアに自殺の遺伝子が働きたすと、細胞が生きていくことができない。

このように、私たちは生まれたときから死ぬときまでの間、どういう遺伝子がいつ働くかが決まっている。最初に話したせん虫とは違って個人

差がある。いろいろな条件によって変化をうける。生命現象を遺伝子や分子のレベルで見えていくと、私たちの最大寿命は遺伝的にはつきりと決まっている。生まれるときの過程にはフレキシビリティがあつて、

外界の影響を受けやすい。そういう個体が生きていくためには、いろいろな条件に適応しながら生きていく。死ぬということ悲しいことだが、死ということさえも生命の進化の過程で作り出され、それが遺伝子として死も進化し続けてきたわけだ。そう考えると、有限な生命というものが与えられていて、その生命を有効に利用しながら生きていく。一生は有限であるから、私たちは充実した生き方を考える。

私たち人間は遺伝子の乗り物ではなく、遺伝子という乗り物に乗って、この世に生まれて、その遺伝子を有効に使いながら、一生という私たちが自分で作り出すことができる時間を生きて、やがて遺伝子の乗り物を乗り捨てて、この世とお別れをする。そう人生を考えることもできる。

つまり、われわれが遺伝子の乗り物と考え、すべてが遺伝子で決まっていた、自分では何もできないと考えていたのと違った見方で、私たちの人生を考えることができる。

(文・カメラ/菅原純子)

いまを話す

ゲスト

やさしい健康の話が評判の
川崎区役所保健所健康課長

野田 晴彦 医師

Vol.76



大切な体とまちの手入れ

社会支える 保健、医療、福祉

手あて 手だすけ

——昨年から、激しい食中毒症状になる「O1157」が猛威を振るい、久し振りに「保健所の仕事」にスポットが当たった感じですが。

野田さん 私は、「保健」の仕事で「ヘルスのお仕事」と言って、「手入れ」の仕事と考えています。

——「手入れ」ですか。

野田さん 保健・医療・福祉の三分野が、これからの社会を支えていくことになると思います。私は医療を「手あて」、福祉を「手だすけ」と呼んでいます。

——分かりやすい表現ですね。野田さん それに対して保健は「手入れ」と考えていただくと思います。

——手入れの中身は。

野田さん 「手入れ」は二つに分けられます。一つは「自分の体の手入れ」。もう一つは「くらし」を考えた場合の「自分たちの暮らし社会、まちの手入れ」です。保健所に健康課と衛生課があるのは、その両方の手入れに対応しています。感染の恐れがあるとか、極めて非衛生的であるなど、規制が必要な場合は法律や条例に基づいて行政指導や行政措置を講じます。けれど、保健所の基本になる仕事は、市民のみなさんが「自分の心身の手入れをどうしようか」と考えたとき「こういう方法があります」「ああいう方法もあります」と、いろいろな方法や改善策を提案することです。

——保健は、福祉や介護、医療と同じように、くらしと密接にかかわっているのですね。

野田さん そうです。たとえば、盆栽というのは何十年、あるいは百年以上もかけて枝ぶりをそろえて品評会に出品します。盆栽にこ

「あの人の話は分かりやすい」との評判を聞き、インタビューで「語り」の伊藤眞弓さんと川崎区役所保健所へ出かけた。同所健康課長、野田晴彦医師(41)は、「医療とは」の問いに「手あて」と答え「福祉とは」と聞けば「手だすけ」といい「保健とは」と突けば「手入れ」と応じる。手入れの中身は「市民の『体の手入れ』と、自分たちが暮らす『まちの手入れ』とひょうひょうと話す。「専門家と行政マンの話は、抽象的で硬くて難しい」との声もあるが、「情報公開のパイオニア都市・かわさき」の幹部職員は「説明責任」を身につけていた。いのちとくらしの問題を解決するのが基礎自治体の役目。市民の方々、役所をもっと活用しよう。



っている人たちは旅行もせずに、十年後、二十年後にどうなるかを考えながら日々、盆栽と付き合っています。しかし、盆栽に一生懸命の人に「あなたは、十年後の自分の体のことも考えていますか」と伺うと、案外と考えていない人も多いのです。

——そうかもしれませんね。

野田さん 盆栽と人間とどちらが大切かは別にして、盆栽より人間の体のほうが「手入れのしがいがある」と思います。歯を例に取りますと、国の「8020プラン」があり「八十歳で二十本の歯を持つ」ことが目標です。いま二十本の歯のある世代は五十代前半まで。八十代は平均五本の歯です。手入れが不十分だったんです。

——歯のケア用品がいっぱいあるのに、ですか。

野田さん 歯の手入れが十分に

できる社会になったのは、この十数年前からです。「8020プラン」は、いまの四、五十代の方たちが歯の手入れを上手にすれば可能な目標です。その基本は歯磨きです。

——野田先生のお話をお聞きして「医療と保健の境目って、あるのかしら」と思うのですが。

野田さん 病気がなくなれば医療はさびれますが、病気がなくなっても保健は不減なんです。そういう保健の知識や技術^{アドバンス}を後世へ伝えていくことが、保健所のいちばんの仕事とと思っています。

——と言いますと……。

野田さん 病気がなくなったらとらいつて、清潔な習慣をなくしたり、手入れをやめたら、体の調子は必ず悪くなり、行き着くところが医療です。いまの医療機関は「行き着いてしまった人」が多すぎて混んでいます。いま、十人が病気になるってしているとします。それを五人に減らすことができれば、同じ医療スタッフで二倍の診療ができます。医療資源を手厚く配分することは、患者全体にとって、いい結果につながります。

——病人を半減させるなんて、

現実にはできないと思います。

野田さん 病気を少なくする前提・基本は「自分の体をどれだけ大切に扱い、どれだけ興味をもって手入れができるか」です。保健所での検診のとき、家庭での保健の基本を伝えていきます。特に乳幼児健診では、病気を見つけるというより、順調に発育、発達しているか。いま、身につけようとしている生活習慣が、将来的に損をし



ない適正なものかに重点を置いています。これは、乳幼児を育てていく全世代の役割です。それは、育てられた世代が無意識のうちに身につけたことを、また次の世代に伝えるとき、新しい世代がより健康的な生活が送れるように伝達していくべきと考えるからです。

——赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいるときから、母親学級などを通して保健所にずーっとお

野田 晴彦 さん

のだ・はるひこ=1957年兵庫県姫路市生まれ。81年、東京大学医学部医学科卒。84年、国立公衆衛生院専門課程修了、MPH（公衆衛生学修士）。86年、日本体育協会公認スポーツドクター。同年、ソウルアジア大会選手団本部通じたく健康づくりを工夫。日本陸連医事委員として競技者の健康管理、アンチドーピング活動も。フルマラソンで3時間未満100回完走が目標。口癖は「悪意と怠慢には勝てない」。宮前区有馬在住。

世話になってるんです。ただ、若い人とかサラリーマン、高齢者はそれほど保健所を身近に感じていないと思うのですが。

野田さん 保健所の仕事は「健康づくり」です。ですから、健康づくりや心身に問題を抱えている方は保健所に聞いてください。それぞれの方にあつた健康づくりの方法・手入れの仕方を提供します。また、市内全保健所で「健康増進教室」も開催しています。

——健康増進教室というのは？

野田さん これは、十八歳以上の方ならどなたでも参加できます。

「健康づくりは後回し」はダメ

やれる運動の実行を

フルマラソンで力走。ゴールに向かう野田さん（一九九六年、掛川で提供写真）



をしています。現実には時間ができて自分の体のことが気になる年齢層は五十代後半で、参加者の平均年齢と一致します。けれど、保健の知識・技術は若いうちに身につけておいた方がいいので、より若い人にアプローチをしたいという願いはあるんです。

——「健康づくりは若いうちから」が、なかなかできないですね。野田さん みなさん、そういう言い訳をされます。私は保健所の仕事を約二十年してきました。そして、たくさんの方の保健の知識を仕入れて「こんな幸せな人間はいない」と思っています。また、それを実践することもできました。ですから「したいけれど、できない」というのは、価値観と優先順位の問題だと思えます。

——きびしい！

野田さん 一年中、健康を意識する必要はありません。しかし、何日か自分の体づくりを優先する日をつくらないとどうなるかです。いまの、一般的な価値観で、順番にこなしていけば当然「健康のこ」とはちよつと置いて「になります。——そうですね。運動を始めても、それを継続させるのがまた大

変なんです。

野田さん 健康づくりをする場合、「理想的には週三回、三十分以上歩きましょう」といいます。科学的データはそうなっています。年に一回だけウォーキングのイベントに参加した人と一回も参加しない人では差ができません。効果はゼロに近いのですが、そのことがきっかけで「もうちよつと」と思えるようになればいい。水泳なら、くらのように水に浮いているだけで健康維持には十分です。

——本当ですか？

野田さん ええ。散歩と同程度で、これを私は「ヘルスレベル」と呼んでいます。その上「フィットネスレベル」といって、金魚のようにプラプラと泳ぎ回れる程度です。体調を管理する上ではこれで十分です。トドのように水しぶきを上げながら泳ぐことを「トレーニングレベル」といって体力増進になります。若い人は、このレベルまでは楽にいけるでしょう。——高齢社会といわれますが、自分の年齢に合った運動を見つけたら、どんな年齢になっても無理なく続けていけそうですね。

野田さん 若い人の場合、「走

健康チェック、体力チェック、生活習慣チェックをする中で、これからの健康づくりをどう進めていけばいいかを学ぶ教室です。しかし、年間六百人くらいしか利用されていなのが現状で残念です。——私、そういう教室があることを知りませんでした。たくさん

の人に知ってほしいですね。野田さん 健康増進教室は、国の「健康づくり運動」政策に基づいて昭和五十三年、高津保健所が全国でいちばん先に手掛けました。私が、川崎市に就職した最大の理由です。それ以来、「大人の健康づくりは健康増進教室で」とPR

ほんねインタビュー

生活習慣病は伝染病!?

たばこ、麻薬のない社会を

「ラジ体操をして
いる人」「何もしない人」で、ラ
ジオ体操をしている人の体力は、
何もしていない人に近いのです。

——ほんとうに？

野田さん ええ。でも六十歳を



越えたと「走っている人」「ラジ
オ体操をしている人」が上にいて、
「何もしていない人」が下になる
のです。活力ある高齢者を増やす
基本はやはり体力づくりですが、
ラジ体操を続けることでも十分
です。高齢者の健康対策が、特別
なことをしないと元気でいられな
いというものではないのです。

——老いも若きも自分の体に目

を向けることが大切と……。

野田さん そうです。同時に、
健康の面白みに気づいてほしい。

体の具合が悪くなって、治療する
ことが楽しいという方はいないと
思います。それよりも、自分のい
まの体の状態を楽しく維持できる、
よりアップできる楽しさを味わっ
てほしいと思います。これは、自
分の体と対話するということです。

——野田さんはマラソンをなさ
っているそうですね。

野田さん 私は、大学のときに
間違つて陸上競技部に入ったんで
す。競技の世界ですから、勝ちた
い、記録を出したいという気持ち
で走っていたわけです。でも、ち
よつとしたトラブルで走れなくな
って……。保健所に入って再開し
たのですが、それから、自分の
体と相談しながら走るようになり
ました。自分の体が「いいよ」と
言ってくれたら走り、「だめだ」
と言ったら抑えるようにしていま

す。年を取ってくると、自分の体
にむちを打って走るわけにはいき
ません。体をおだてて走るんです。
自分の体を手におだてる方法と
いうのは健康づくりと同じです。

——常日ごろから、自分の体と
対話をしていけば、そのコツがつか
めるようになるんでしょうね。
同じ道のりでも、今日は歩こうと
か、バスに乗ったほうがよさそう
だとか、日常的にしていることで
すから。

野田さん 自分で自分の健康を
引き受けるということは、手間も
暇もかかります。それを避けたい
と思うと、お手軽な健康法に飛び
つきます。健康づくりに王道はな
く「じっくり向き合い、ゆっくり
と変わっていく」ほうが体に負担
がかかりません。

——野田さんは、走ることが楽
しいのですか。

野田さん はい。私はいやいや



伊藤真弓さん

伊藤 真弓さん

・まゆみ=米国G
rand View Co
ileg 卒。仕事名は上
1月麻末。読み聞かせ朗読教
室「話芸」で指導する
たわら、公演では出演、作
曲を担当。英語教室を主宰。中
盲学校や病院などで語りポ
ランティアにも参加。中原
区在住。

我慢して走るとか、義務で走った
りしたことはありません。年間三
千キロほど走りますが、全部自発
的に走って楽しんでます。

——健康づくりという大切な仕
事をしている保健所が、なぜか医
療や福祉に比べ影が薄いんですね。

野田さん それをずっと感じて
きました(苦笑い)。いつも「い
かに保健所の仕事をPRするか」
に心を砕いてきて、やっとこのく
らいのことが言えるようになって
きたんです。保健所のこれからの
注目してください。これまでは指
導中心でしたが、どんどん前向き
な提案をしていきます。

——喫煙している方に、どうい
う提案をされますか。

野田さん 一つには、体を動か
すことの楽しさを覚えてほしいで
すね。たばこを吸った時と吸わな

新鮮で安全な食品は 消費者の賢い目から 食中毒

い時では体の反応が違いますから、自然とやめる人が増えると思いません。自分の体と対話するようにないと「これ、いらぬんじゃない」と体が言うようになるんです。

——若い男女に喫煙者が増えていきますね。



野田さん たばこやアルコール

などの生活習慣病は、世代から世代へうつる伝染病です。いまの小学生に影響力があるのは友達、親、教師です。たばこを吸っている人の率が高ければ高いほど、本人が手を出す確率も高いのです。これは明らかにうつつている！私は医者立場から「たばこは麻薬

と同じ」と言いたい。「たばこや麻薬のない世代」を育てたいというのなら「たばこ、麻薬のないのが当たり前の社会」をつくる努力が大事です。

——個人のレベルではなく。

野田さん そうです。私は「病人」を意味する「半健康人」という言葉は絶対に使わないと決めているのですが「反健康人対策」は必要です。「絶対にたばこはやめない」という人たちは、健康に背を向けて生きている人たちです。そういう人たちを、いかに振り向かせるかも私たちの仕事です。そのための魅力的な提案を探していきたいと思えます。

——先程、保健所には健康課の他に衛生課があつて、ここは私たちの暮らす社会の手入れをする仕事をしています、とのお話ですが。

野田さん 食品営業の場合、施設の基準があり、開業前とか許可の更新の時には監視員が出向いて

チェックします。これは最低基準をクリアしているかどうかの調査です。問題は、その後の衛生管理の上手下手で、お店の衛生状態が、だいぶ変わってしまうこともある点です。川崎保健所管内の衛生監視員は八人です。それで一万軒の施設をカバーするので、新規と更新時のチェックで精一杯です。

——監視員が少ないですね。

野田さん ですから、私は食品衛生の知識を市民の方にどんどん知ってもらわなければならないと思います。



その上で「あの店はこんなことをしていましたよ」と保健所に報告してもらってもいい。食品を扱う商店も同じで、食品衛生法の基準を下回る期限切れの品物売ってたり、生鮮食品を日の当たる場所に並べてあつたら、消費者の方が目を光らせ「これでは、だれも買わないよ」と言うようになれば、お店の人が「いいものしか売れない」と気付く。このように消費者、商店の双方が成長してほしいのです。食品営業の方々の会合で、私は「食べ物を提供するということは健康産業です。『これを食べて健康になってください』との意気込みをぜひ持ってほしい」と言ったこともあります。

——いいお店の育成は消費者次第ということですね。

野田さん 保健所も消費者へのアプローチが不十分でした。保健所が常に地域から健康情報をくみ上げ、新しいものが出てきた時、それを取り上げるセンスを磨きたいと思えます。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 園

カメラ／山本 綾子

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

①本の読み聞かせ②親と子の手話◆市中部身体障害者福祉会館 ①は7月24日〜8月7日の毎土曜10時。無料。30人(抽選)②は7月27日(火)〜31日(土)10時。手話ダンスを交え学ぶ。小学生以上とその親。教材費300円。20組(抽選)申し込みは①7月13日(火)②17日(土)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、☎を記し〒211-0068小杉御殿町2の114の1、同館。☎(733)9675。

月26日の毎火曜10時。無料。各30人(抽選)。申し込み①7月21日(火)②8月21日(土)〜往復はがきに講習会名、住所、氏名、年齢、生年月日、☎を記し〒213-0001溝口1の18の16、同館。☎(811)6631。

①陶芸(午前)②陶芸(午後)③茶道④版画⑤工作⑥パソコン◆青少年創作センター ①②8月17〜31日の毎火曜他。③④⑤は25日(火)⑥25日(火)〜27日(金)。①③④9時半、他は13時半。全日程参加可の⑥小3〜中、他は小中生。50〜千五百円。定員12人〜30人(抽選)。申し込み7月25日(日)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、☎、学校・学年を記し〒214-00034三田2の3303の1、同センター。☎(911)1510。

①親子点字教室②親子手話教室◆市南部身体障害者福祉会館 ①は7月22日(木)23日(金)13時半。20人(抽選)②は8月3日(火)〜7日(土)10時。全5回。30人(抽選)。小学生とその保護者。子供のみも。無料。申し込みは①7月9日(金)②23日(金)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、☎を記し〒210-0834川崎区大島1の8の6、同館。☎(244)3971。

①牛乳パックから手すきはがきを作る②ジュース・果物の甘さ調べ◆市消費者行政センター商品テスト室ほか 8月5日(木)、宮前区役所保健所▽20日(金)、同室②は8月6日(金)、同室▽18日(火)、麻生区役所保健所。いずれも10時。無料。市内在住の小学生。定員先着10〜20人。申し込みは7月16日(金)9時から☎(200)2263の同センター。

①夏休み子ども宿題お手伝い教室①食べ物着色料を調べる②甘さ調べ③辛さ調べ④ペットボトルで浄水器を作る◆市消費者行政センター商品テスト室 ①は

8月10日(火)②11日(水)③12日(木)④13日(金)。13時。無料。先着各10人。申し込みは7月27日(火)9時から☎(200)2263の同センター。

①講習会①植物観察の基礎②秋まき草花の育て方◆市緑化センター ①8月5日(木)。教材費300円②9月16日(木)。同500円。13時半。各30人(抽選)。申し込みは①7月26日(月)②9月1日(水)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、☎を記し〒214-00021宿河原6の14の1、同館。8月5日(木)〜22日(日)は雑草展。☎(911)2177。

①簿記2級②きもの着付け③日曜④同⑤木曜◆中小企業・婦人会館 ①8月23日〜11月25日の月・木曜18時。教材費込み約4万6千円。先着50人②は9月5日〜11月28日の毎日曜10時③は9月2日〜11月25日の毎木曜18時半。女性。入金込み約1万7千円。先着各30人。申し込みは①7月

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

きいてみたい音楽がある

島美登里 写真コンサート



「パトリック・ヌジェ
写真のライブ、パリの
香り、シャンソン！アコー
デオン！◆川崎能楽堂」10
月1日(金)18時半開演。グス
トは桑山哲也、長谷川きよ
し。「群衆」「パリの空の
下」他。全自由席3千5百
円。問い合わせは☎(222
2)8821の市文化財団。

ステージ

15日(木)②8月18日(水)から☎
(422) 25255の同館。
「いけ花(池坊) 一日体
験講座◆川崎市民プラザ」
7月17日(土)10時と13時半。

花材費込み2千円。先着各
20人。申し込みは7月13日
(火)までに同館へ直接。☎
(888) 3131。

ト◆川崎市民プラザ」10月
24日(日)17時開演。「サイレ
ント・イブ」他。全席指定
3千円。7月17日からプラ
ザフロントで発売。☎(8
88) 3131。



「①アカデミー室内オー
ケストラ演奏会②ワディム
・ルデンコピアノリサイタル
◆洗足学園前田ホール」
①は7月6日(火)18時半開演。
モーツァルト「セレナータ
・ノットウルナ ー長調」
他。千円②は7月8日(木)18
時半開演。シヨパン「幻想
即興曲」他。無料。詳細は
☎(856) 2981の同
大演奏部。溝ノ口駅下車。

「木月京子コンサート

(アルト)◆サカモト・ミ
ユージックスクール鷺沼校」
7月20日(祝)14時半開演。シ
ヤンソンからオブレッタま
で。3千円。☎(854)
6581。鷺沼駅下車。

「親と子の音楽会◆会館
とどろき」7月24日(土)11時
と14時開演。東京パシフィ
ック管弦楽団の演奏。7百
円。先着2百人。申し込み
は7月2日(金)から☎(73
3) 3333の同館。

「フレッシュアンサンブ
ルかわさき in 99◆新百合
21ホール」8月1日(日)14時
開演。チェロ、ピアノ、ハ
ープの三重奏、民話の朗読、
合唱他。無料。問い合わせ
は☎(989) 1338の
同アンサンブル。

「高津ジャズセレクショ
ン◆糀ホール」7月14日(水)
19時開演。佐々木マリ 写
真・クインテット。全自
由席3千円。☎(813)



4805の高津JAZZ協
会事務局。溝ノ口駅下車。
「国士館大学吹奏楽部夏
季演奏会◆多摩市民館」9
月8日(水)18時半開演。無料。
詳細は☎03(3419) 7
428の同部。

スポーツ

「体験講座『エアロビッ
クを楽しむ◆玉川大学』7
月7日(水)17時と18時▽10日
(土)11時と12時。先着各10
0人。無料。上履き持参。
申し込みは☎042(73
9) 8895の同大継続学
習センター。玉川学園前駅
下車。

「教室①健康・体力改善
②親子スポーツ③健康ヨガ
入門④シルバースポーツ⑤
けがの予防テーピング◆市
体育館」①は9月17日から
毎金曜14時半②は9月21日
からの毎火曜A9時半とB
10時45分③は9月21日から
の毎火曜14時④は9月22日
からの毎水曜A13時半とB
15時⑤は9月11日(土)10時。
①15歳以上35人③⑤同40人
②3・4歳児とその保護者

ゆりがおか児童合唱団定期演奏会

全席自由1,000円

8月29日(日)午後4時30分開演 麻生文化センター(新百合ヶ丘駅下車)

○演出・振り付け——石井かほる

曲「メルツェルさん」(ベートーベン作)

○指揮——山田榮子 ○ピアノ——西山淳子

目「やぎさん ゆうびん」(まどみちお作)他

●問い合わせ……丸山☎(989)1338

□後援……川崎市、市教委、当事業団ほか

学習・文化情報

みたい絵がある

各40組④55歳以上各40人。受講料①③4千円②⑤3千円④1回120円。申し込みは①9月3日14時②9月7日10時③同14時④9月8日14時⑤8月28日10時、同館で抽選。☎(200)3255。

「ウォーキング◆幸スポーツセンター」9月22日から毎水曜13時半。15歳以上30人。4千円。申し込みは9月8日13時半、同館で抽選。☎(555)3011。

「①空手道②剣道③少林寺拳法④合気道⑤なぎなた⑥柔道◆石川記念武道館」①9月18日から毎土曜18時15分②9月28日から毎火・木17時③9月30日から毎水曜18時④は9月25日から毎土曜16時半⑤は同15時⑥は9月28日から毎火・木・土曜18時。いずれも小学生以上。定員は20〜30人。受講料は大人1回百円、子供50円。申し込みは9月5日10時、同館で抽選。☎(544)0493。

「①アクアピクスI②健康体操③中級バレエボール④親子ピクス⑤アクアピク

スII◆とどろきアリーナ」①9月3日から毎金曜10時15分。富士通プール②9月16日から毎水曜13時半③9月22日から毎水曜10時④10月6日から毎水曜15時⑤10月8日毎金曜10時15分。富士通プール。①⑤15歳以上40人②40歳以上40人③15歳以上25人④5・6歳児とその保護者30組。受講料は④のみ千五百円、他は2千円。申し込みは①8月6日10時15分②同19日13時半③同25日10時④9月8日15時⑤同10日10時15分同館で抽選。☎(798)5000。

「①こども体操②シルバ―本極拳③スポーツエアロピクス◆高津スポーツセンター」①9月4日から毎土曜14時半。小1〜3年50人。6百円②9月24日から毎金曜14時。60歳以上40人。千6百円③10月6日から毎水曜18時半。15歳以上40人。4千円。申し込みは①8月7日14時半②9月3日14時③同8日18時半、同館で抽選。☎(813)6531。

「①中国体操②腰痛予防ストレッチ入門◆麻生スポ

ーツセンター」①9月21日から毎火曜15時②9月16日から毎水曜10時。いずれも15歳以上40人。4千円。申し込みは①9月7日15時②9月2日10時、同館で抽選。☎(951)1234。

「アートホール新町」7月15日(木)まで、川崎南ロータリークラブ写真展。☎(344)6444。

「会館とどろき」7月11日(日)まで教職員美術展▽12日(月)〜19日(月)歯の衛生の図画・ポスター展▽21日(水)〜31日(土)中学生展▽8月2日(月)〜19日(木)、子供絵画・書道展▽21日(土)〜26日(木)、紫墨会展▽29日(日)〜9月12日(日)、「花と旅」写真展。☎(733)3333。

「スナック喫茶琴」7月15日(木)まで永井博写真展▽同日〜31日(土)室伏正水彩画展▽同〜8月14日(土)彦坂勝良写真展▽同〜28日(土)佐藤正二郎バステル画展。☎(544)0507。

「アートガーデンかわさ

ギャラリー


き」7月20日(祝)〜25日(日)川崎きりえ美術展。問い合わせは☎(344)2038の小林さん。

「画廊ランプ屋」7月7日(水)〜18日(日)さいとうゆう吹きガラス展▽23日(金)〜8月8日(日)常設展。☎(945)4416。

「新百合21ホール」8月7日(土)〜9日(月)緑陽苑10周年企画「現代国際巨匠絵画展」。無料。☎(988)5010の同苑。

「中村正義の美術館」7月18日(日)まで、常設展「顔いろいろ」▽20日(祝)〜25日(日)「みるみるかくかく美術館特別展」。☎(953)4936。

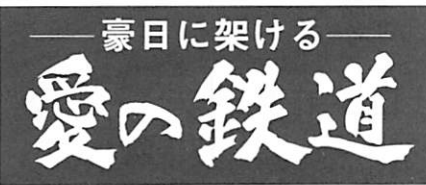
「アートガーデンかわさき」7月27日(火)〜8月1日(日)「心画展」瀬崎竜彦・心のメッセージ。「心の響きを映す墨」と評価される書30点。☎(866)4855の瀬崎さん。

「催し」

「①ガリレオ工房科学実験教室②アニメ映画③パソ

特別チャリティー上映会 脚本・監督 千葉茂樹

ドキュメンタリー
語られなかった真実の歴史



- 上映日 7月16日(金)
- 入場料 1,000円
- 会場 東京ウィメンズプラザ
☎03(5467)1711(地下鉄表参道駅下車)
- 上映開始 11時、13時、15時、17時(英語版)、19時
〈問い合わせ〉市民グループ・地球家族の会
☎044(966)7078

学習・文化情報

参加したい催しがある

コンお絵描きコンテスト◆
東芝科学館」①7月24日(出)「超低温ドライアイスの世界」小4以上②8月9日(月)10日(火)③は8月9日(月)〜12日(木)と17日(火)〜20日(金)。親子。①②は10時と13時半③は各日10時から5回。定員先着各①50人②150人③20組。①③は事前予約。無料。申し込みは☎(549)2200。川崎駅からバス。

①人形劇祭り②こどもサイエンススクール◆川崎市民プラザ」①7月25日(日)〜28日(水)10時半。プロ・アマ人形劇の公演。4日間有効の前売りバッジ6百円をプラザフロントで②7月31日(土)14時。映像と実験で地球の不思議を体験。小学生(親子可)。無料。申し込みは7月10日までに往復はがきに住所、氏名、☎を記し〒213-0001 4 高津区新作1の19の1、同係。☎(888)3131。

「工作教室Ⅱ写真①万年筆②和紙うちわ③ピアノオルゴール④オリジナル消しゴム⑤シャボン玉機⑥Tシャツ⑦L・T口ポット⑧コ



イスター⑨ゆうれいカー◆東芝科学館」①7月21日(水)〜23日(金)10時と13時半②7月26日(月)〜31日(土)10時③同13時半④8月2日(月)〜7日(土)10時⑤同13時半⑥7月26日(月)〜29日(木)と8月2日(月)〜6日(金)の10時と13時半⑦は8月11日(水)12日(木)10時と13時半⑧は8月17日(火)〜21日(土)10時⑨は同13時半。対象は①⑤⑦⑨小学高学年以上②④⑥親子③⑧中学年以上。教材費3百〜2千円。定員先着20〜50人。申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「シネマクラブ◆川崎マリエン」7月11日(日)14時。米映画「ベイブ 都会へ行く」無料。当日先着3百人。

☎(287)6009の川崎港振興協会。
「さいわい・ごみカレッジ◆堤根処理センター」7月28日(水)10時。空き缶などの処理施設見学や工作。50人。小4以下は親同伴。3百円。幼児50円。申し込みは7月16日(金)までにはがきに住所、氏名、☎、学年を記し〒211-0955 幸区南加瀬5の38の2の409の井上政江さん。問い合わせは20時以降に☎(588)4096。

「かわさき合唱まつり◆幸文化センター」7月17日(土)13時18日(日)12時。市内外の60団体が演奏。無料。☎(222)8821の市文化財団の主催。

①夏休み平和映画会②同お話し会③リーディング・クイズラリー◆プラザ橋」①7月27日(火)10時「リトルインディアン」13時半「空とぶマウス」。無料。当日先着150人②8月25日(水)10時半小学生、11時幼児。当日直接③7月16日(金)〜8月22日(日)、問題を解き次へ。小学低・中・高の3コース。

☎(788)1531。
「作品展と講習会◆多摩市民ギャラリー」7月9日(金)〜14日(水)16時。介護服、木版画などの展示。9日(金)ファッションリフォーム10日(土)介護しやすい服マ11日(日)木版画とフラワードesignマ13日(火)押花アート新技法マ14日(水)ツールペインティング。時間は13時。フラワーだけ15時。無料。先着各15人。申し込みは午前中☎(911)2221の登戸ドレスメーカー学院。

「風とあそぼう♪君も飛行機博士◆県立川崎図書館」8月29日(日)14時。絵本作家の古川日出夫さんと飛ぶしくみを。小学中・高学年先着30人。無料。申し込みは☎(233)4537同館。

「夏休み理科教室①電気パンを焼こう②気象を調べよう③生田緑地の環境を調べよう④押し葉標本を作ろう⑤葉脈標本を作ろう⑥日時計を作ろう⑦森の学校Ⅰ⑧森の学校Ⅱ⑨小さな化石◆青少年科学館」①②7月20日(水)10時③7月22日(木)23日(金)10時④7月23日(金)30日

村相広義展

新春号から表紙絵を制作の村相広義さんが新宿で個展を開きます。「清水港の風」(30号)ほか10点です。ご鑑賞ください。なお、村相さんの「山里の秋」(50号)が、'99 神奈美展で優秀賞を受賞。

★会期 7月1日(木)〜31日(土) 11時30分〜24時(日曜、祝日は18時)水曜休み
★会場 パブレストラン アフター6 サロンドギャラリー

(JR新宿駅東口下車、三越南館そば) 東京都新宿区3の31の5、ペガサスビル3F
(問い合わせ) ギャラリー絵夢 ☎03(3352)0413

学習・文化情報

楽しいイベントがある

〔金〕10時⑤7月25日(日)13時半
 ⑥7月27日(火)10時⑦7月28日(水)10時⑧同13時⑨7月29日(木)10時半。①5百円、他は無料①小学1〜3とその親②③小4以上⑥小5年以上。他は小1以上。定員15〜20人。申し込みは①②7月6日③④7月7日⑤⑥7月8日⑦⑧⑨7月9日から
 ☎(922) 4731。

〔1〕天体観望会Ⅱ写真②盆踊り大会◆川崎授産学園
 ①7月24日(土)19時。月、星座。雨天はスライド。無料。



小学生以下は大人同伴。当日直接②は7月28日(水)17時半。雨天29日(木)。☎(954) 5011。

〔自然観察会〕水にすむ

おしらせ 当欄の掲載料は無料です。締め切りは発行月号の2ヵ月前の末日になります

昆虫たち◆多摩川釜之淵
 7月20日(祝)10時、JR青梅線青梅駅集合。雨天中止。無料。先着20人。申し込みは7月9日から☎(922) 4731の青少年科学館。

〔「ベートーヴェン・第九」を歌う団員募集〕12月19日(日)、麻生文化センターで神奈川フィルの特別演奏会で歌う。練習は7月5日から毎月曜19時マ10月2日から毎土曜18時半、麻生区の青葉幼稚園。参加費は学生1万円、一般1万5千円。問い合わせは☎(986) 9144事務局の鈴木さん。

〔親子体験教室①竹細工②セミ・呼笛③つり型風車④わら細工⑤あしなぞろり◆日本民家園〕①7月25日(日)②8月8日(日)③同22日(日)。10時、作田家。小学生以上の親子15組(抽選)受講料は①②千円③④⑤⑥百円。申し込みは往復はがきに住所、氏名、学年、☎、講座名、受講日を記し①7月12日②7月26日③8月9日までに〒214-10032多摩区杉形7の1の1の同園。☎(922) 2181。

編集後記

一つのいのち、大切

日本で絶滅した鴉▼五月下旬、その鴉のタマゴの人工化に成功して、雛が日に日に成育する姿をテレビで見て「いのち誕生はドラマだ」と叫びたくなりました▼まだ、経済的に豊かではなかったころ、新潟・佐渡で鴉が上空をゆつたりと飛ぶ姿を見ることがありませんでした▼しかし「国破れて山河在り」だったのは一九五〇年代まで

▼六〇年代からの高度経済成長政策は、大気を汚染させ、海に大量の重金属や薬品を流しこみ、山の樹木を荒廃させました▼物質的豊かさの代償として、人間の欲望の犠牲として、数多くの生き物が抹殺されました▼川崎市南部は、硫酸化物などによって、一晩でイチジクの木が枯れるほどの公害都市▼物質文明は人間の社会の潤いも失わせ、多くの若者が心の病をいまま

患っています▼それは、決して過去のことではありません▼一昨年、有明海の干潟つぶしの愚挙により死んでいったツツゴロウの悲惨な姿と、希望を失いつつある人間の姿がなぜ過去と云えるのでしょうか▼さて、地味ですが、読めば面白い記事というのがあります▼小誌3ページ「いのち誕生はドラマだ」「人生は遺伝子で決定」は誤り」の見出し記事がそれです▼取材者・菅原の思い入れの深さを感じていただければ幸いです▼八月六日は米軍により広島に原爆が投下された日▼同九日は長崎に原爆が投下された日▼さらに十五日は、昭和天皇の終戦詔書が放送され、国内外の幾百万人の犠牲に終止符が打たれた日▼この一九四五年は、トップの決断によって、多くの人命が救われることを学んだ年▼米国による空襲・無差別爆撃、ソ連による捕虜のシベリア連行・抑留・強制労働・凍死を経て▼最近、何かを封印しようという動きがある? (田)。

日本フィルコンサートマスターが演奏

福祉作業所支援チャリティーコンサート

バイオリン ピアノ
木野雅之、楊麗貞デュオ・ウサイタル

7月14日(水)午後7時開演 高津市民館(溝ノ口駅下車)

全席自由3,000円 〈曲目〉サンサーンス：序奏とロンドカプリチオーン 他

■問い合わせは☎(855)0111の鷺沼ミュージックセンター 当事業団ほか後援

かわさき市民アカデミー 10～来年2月聴講生募集の講座

(2ページに応募要項があります)

No.	コース	講座名	講師	曜	開始時間
1	99人間学	平安朝の家族とライフスタイル	服部早苗・亜細亜大講師	月	9:20
2	98人間学	自然としての人間～道元を読む②	森本和夫・駿河台大教授	月	11:00
3	99政治国際	現代の国際紛争	遠藤誠治・成蹊大助教授他	月	9:20
4	98政治国際	20世紀のアジアは何であったか	坪井善明・早稲田大教授	月	11:00
5	98文学	現代文学の作家達	高橋敏夫・早稲田大教授	火	10:30
6	98ことば	映像入門(2)	江藤文夫・成蹊大名誉教授	火	10:30
7	川崎学V	川崎の自然観察-秋・冬編-	斎藤博・国立公園指導員	火	10:00
8	99歴史	「私のロシア」歴史をどう考えるか	和田春樹・東京大名誉教授	火	10:30
9	98美術	中国美術の世界	小川裕充・東京大教授	水	10:40
10	99ことば	海外旅行入門(2)	中川浩一・元茨城大教授他	水	10:30
11	川崎学I	川崎史の課題に迫る・その2	村上直・法政大名誉教授他	水	13:00
12	特別講座	生命政策	成沢光・法政大教授	水	10:30
13	99音楽	モーツァルトだいがく(2)	海老澤敏・国立音大学園長	木	10:40
14	99科学	地球の科学	浜田隆士・放送大教授	木	10:30
15	98経済環境	各国の環境政策～EUを中心に	萩谷順・朝日新聞社編集委員他	金	11:00
16	99経済環境	東アジア経済の発展と危機	河明生・神奈川大講師	金	9:20
17	99高齢福祉	生活福祉の展開	一番ヶ瀬康子・長崎純心大教授他	金	9:20
18	98高齢福祉	高齢者の福祉	篠原一・東京大名誉教授他	金	11:00
19	98居住福祉	居住環境計画	小川信子・北海道女子大教授他	金	11:00
20	98みどり学	都市とみどり	北沢清・元東京農大助教授他	金	10:30
21	99みどり学	まちづくりとみどり	卯月盛夫・早稲田大教授他	金	10:30
22	川崎学II	川崎を「見る・知る・考える」(2)	李仁夏 ^{イェンハ} ・外国人市民代表者会議議長他	土	10:00
23	川崎学III	川崎のまちづくり実践塾 応用編	佐藤紘毅さん(川崎地方自治研)他	土	13:00
A	夜間講座	現代文化入門	西島建男・元朝日新聞編集委員	土	14:00
B	夜間講座	いまなぜイタリアブーム II	石鍋真澄・成城短大教授他	火	18:30
C	夜間講座	日本映画を語る	佐藤忠男さん(映画評論家)他	木	18:30

◆会場はNo.7は野外、No.9・21・Cは新百合21ビル(新百合ヶ丘駅前)、Bはタワー・リパークビル(川崎駅前)、ほかは生涯学習プラザ(武蔵小杉駅下車) ◆各講座14回(No.17は7回、No.23は10回、夜間講座は6、7回) ◆1回の講座時間は1時間20分(No.7は4時間、No.11・22、A～Cは2時間、No.23は3時間) ◆講座名、講師は変更することがあります

●発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話044(952)5000代

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺一の二
FAX 044(952)1350 編集人・田中 寛